

2016年 9月 No32

巻頭エッセイ

星

副理事長 小林征司

地球上のあらゆる気象現象の原動力となっている太陽、すべての生物を育て美しい虹を作り出すその神秘の力に、われわれの祖先は言い知れぬ畏れと深い感謝を捧げながらその光のもとに田畑を耕し、家畜を育てた。

そして夜、一日の労働を終え自分を取り戻すとき、彼らの頭上には月があり、星が輝いていた。体を休め、一日を振り返るにふさわしい静かでやわらかな輝きがあった。彼らにとっては、疲れた心を癒すための気の合う話し相手でもあったろう。ほんとうの夜があった。

だが、いつのころからか人間はこの大いなる力に戦いを挑み、その仕組みを探り出す事に異常な執念を持ち始めた。

その結果、太陽も宇宙の恒星の一つであるとか、寿命はあと五十億年くらいだ、と得意げに発表し、またどういつもりか月へ飛んで行ってウサギを追い出し旗を立てた。

遙か彼方の星に対して我先に喝采を浴びようと熱心なことだが、自分の棲む地球の上で小さな山が爆発し多数の犠牲者が出ても何ら打つ手を知らない。ただオロオロするばかり。何かおかしい。

五十年来、抱き続けている私自身の極めて独善的な思い込みを捨て切れないでいる。

夜空を飾る星の幾つかを無理やり線で結んで「鳥」だの「羊」だのというのは失礼千万だ。そんな名前など付けなくても彼らは一つひとつ十分にロマンにあふれ美しい。

星座が創られるのはその人一人だけの詩（うた）として、胸の中に花や鳥たちが描かれるときだろう。たった一個の小さな星がその人にとって万感の思いを告げられる友であるなら隣の星との線や形はいらない。名前もいらない。

詩

「年 齢」

とも作

歳を重ねるのは
 こころ若がえる事

感動したり涙もろくなったり
 「純な魂」になってゆく・・・

「とも」さんの詩集 15作を出版

！グループホームの開設準備をしています！

NPO法人「希望」は、現在グループホームの開設に向けて準備を進めています。開設する予定場所は市内の栗山地区です。県や市等とも調整を図りながら、まずは地元の皆さんにご理解・ご協力をして戴けるよう、また建設工事に伴うご迷惑等についてのご挨拶・ご説明をしているところです。

予定では、着工が来年1月、竣工は5月さらに入居開始が6月頃からになっています。このグループホームは、オーダーリース方式といって、土地を所有するオーナーが専門の建設会社に施設の建設を委託し、「希望」がこの施設を利用して、障がい者への福祉サービス（グループホームの運営）を行っていくものです。

従って、いろいろな方たちが協力してグループホームを建設・運営するものです。

入居定員は、6名です。初めから、グループホームとして建設しますので、設計には入居者本人も家族の皆さんも安心して生活が送れる様、また一定の生活クオリティを確保できるような仕様にいたします。さらに医療や精神保健面の専門家が関わる等、建物の面だけでなく運営にも様々なサービスが展開される計画です。

関心のある方は、「希望」あてにお問い合わせください。

しごと受注協議会が

民間企業からロットの大きな仕事を

どんぐり工房も参加している、「しごと受注協議会」が民間の企業からの注文を受けました。

食品のケースにシールを貼る仕事で、座ったままで、短い時間でもできる仕事です。

早速メンバーが手分けをして取り組んでいます。

この仕事は、今後も継続して受注出来る見込みで

「協議会」の友誼団体の「ワークショップ」、
「青空協同組合」、「ピース」とも共同して仕事を請けています。

「協議会」の宣伝用パンフが社会福祉協議会のご厚意で四街道駅などに置かれていますが、その効果が顕れてきたものとの関係者は張り切っています。今後も「しごと受注協議会」を中心に民間からの受注を促進して行きたいと思えます。

「どんぐり」が出店する

秋のイベントです

この秋も地域のイベントにどんぐり工房も参加・出店します。元気な「売り子」達を見に来てください。

* 10月9日(日)

四街道一区フリーマーケット
1丁目児童公園にて

* 10月16日(日)

社協まつり
市役所駐車場

* 11月5日(土)

四街道市産業まつり 中央公園